プレスマン
PRESSMAN
TP-400M
取扱説明書

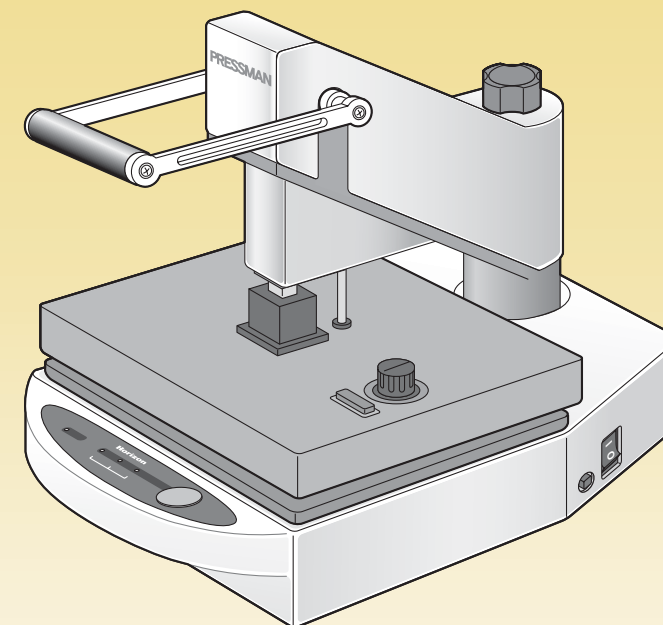
ご使用の前に

プレスをしましょう

こんなこともできます

こんなときは

付録

このたびは「プレスマン TP-400M」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用になる前にこの取扱説明書をお読みになり、よくご理解いただいた上で本機の操作、保守を行ってください。
またいつでもお読みになれるように保管場所を決めてご活用ください。

製造・発売元/太陽精機株式会社ホリゾン事業部
〒180-0005　東京都武蔵野市御殿山1-6-4
TEL　0422（48）5119(代)　　FAX　0422（48）5009
京都事業所
〒601-8204　京都市南区久世東土川町242
TEL　075（921）9225　　FAX　075（921）9217
オリジナルプリントホームページ：http://www.taiyoseiki.com

060420/TP400M/01J/HN/AT/HS

UM107116-02

まえがき

この取扱説明書はプレスマン「TP-400M」の機能を活用するためのガイドブックです。すでにプレス機で経験をお持ちの方にも、再確認のためにお役にたつものにまとめました。

プレスマン「TP-400M」を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。万一ご使用中に分からないことや、具合の悪いことがおきたとき、きっとお手元でお役にたちます。

研究改良の結果、取扱説明書の中に、お買い上げの製品と細部で異なる場合もあります。製品またはこの取扱説明書の内容についてご質問がおありのときは、下記までお問い合わせ下さい。

●操作上のご質問・ご相談は下記までご連絡下さい。

太陽精機株式会社　ホリゾン事業部
〒 180-0005 東京都武蔵野市御殿山 1-6-4
電話　　0422（48）5119（代表）
FAX　　0422（48）5009
京都事業所
〒 601-8204 京都市南区久世東土川町 242
電話　　075 (921) 9225
FAX　　075 (921) 9217
オリジナルプリントホームページ：http://www.taiyoseiki.com

●技術的なご相談は下記のホリゾン事業部担当者までご連絡下さい。

太陽精機株式会社
〒 520-1501 滋賀県高島市新旭町旭字城ノ下 1600 番地
電話　　0740（25）4567（代表）
FAX　　0740（25）6301

目次

はじめに
まえがき・・・・・・・・・・・・・・・・・1
安全にお使いいただくために・・・・・・3
設置上のご注意・・・・・・・・・・・・4
使用上のご注意・・・・・・・・・・・・5

ご使用の前に
梱包品を確認する・・・・・・・・・・・9
本機を設置する・・・・・・・・・・・・・10
各部のなまえ・・・・・・・・・・・・・・11
このような手順でプレスを行います・・・12

プレスをしましょう
電源を入れる・・・・・・・・・・・・・・15
ヒーター温度とプレス時間を設定する・・16
ヒーターの高さ（プレス圧）を確認する・17
テストプレスをする・・・・・・・・・・19
実際の生地でプレスをする・・・・・・・21

こんなこともできます
生地のしわを伸ばす・・・・・・・・・・23

こんなときは
転写しない・圧着があまい・・・・・・・25
裏写りする・・・・・・・・・・・・・・・27
ボタンやポケットの型がつく・・・・・・28
生地が汚れる・・・・・・・・・・・・・29
転写した絵柄が変色する・・・・・・・・30
故障したかなと思ったとき・・・・・・・31

付録
主な仕様・・・・・・・・・・・・・・・・32
プレス条件表・・・・・・・・・・・・・34
別売品・・・・・・・・・・・・・・・・・35
索引・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36

安全にお使いいただくために

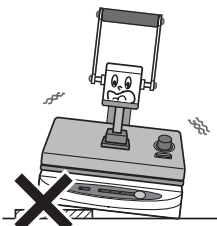
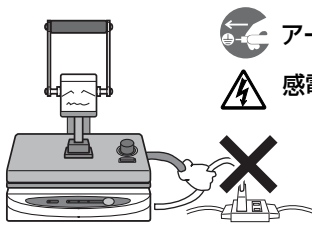
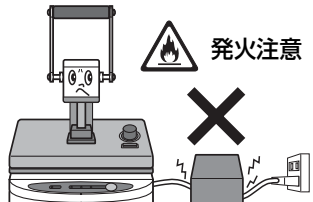
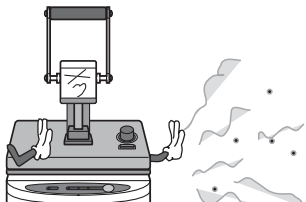
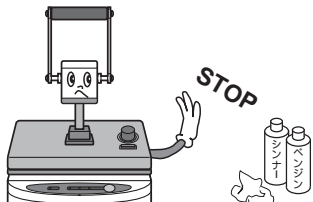
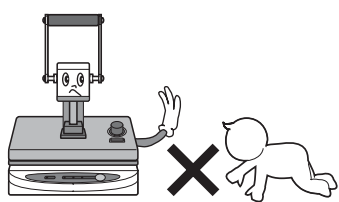
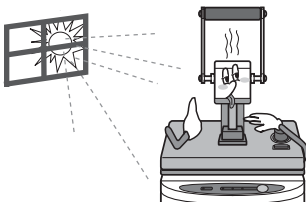
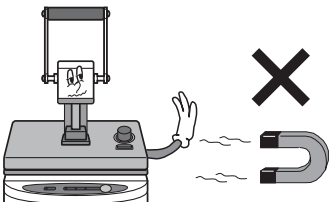
本機を安全にお使いいただくには、正しい操作と定期的な保守が不可欠です。この取扱説明書に示されている手順ならびに安全に関する注意事項をよくお読みになり、充分に理解できるまで操作ならびに保守を行わないでください。

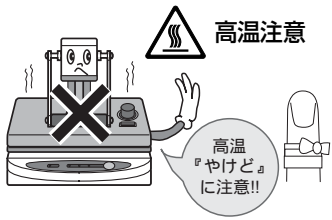
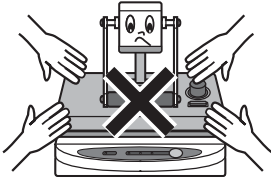
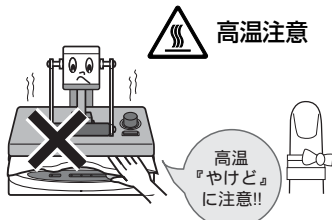
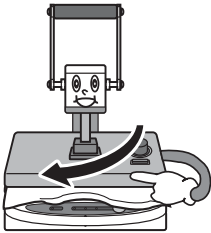
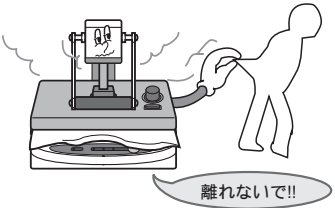
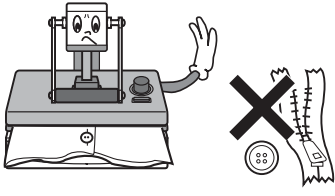
この取扱説明書に示されている操作方法および安全に関する注意事項は、本機を指定する方法で使用する場合にのみ有効です。この取扱説明書に書かれていない方法や目的で使用する場合の安全に対する配慮は、すべてご自分の責任でお考えください。

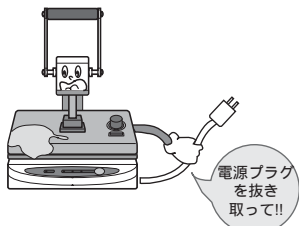
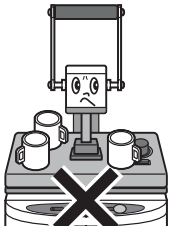
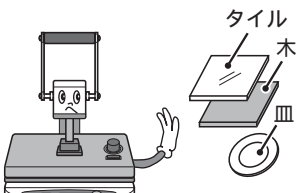
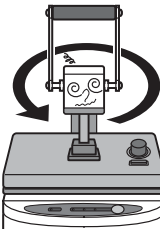
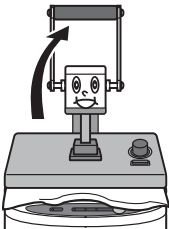
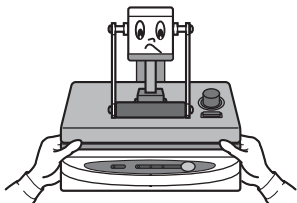
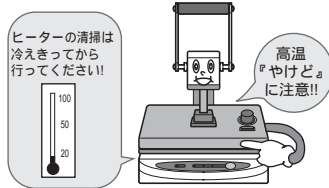
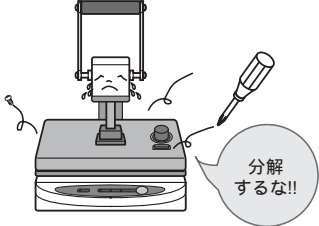
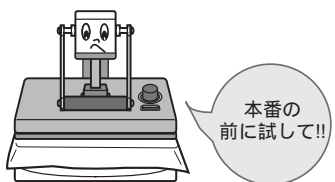
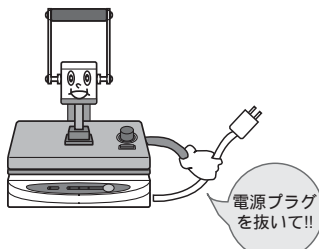
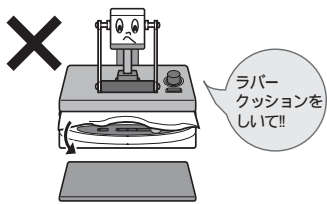
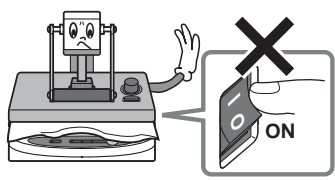
この取扱説明書では、お守りいただきたい注意事項を「警告」と「注意」に分けて表示してあります。

⚠警告	もしお守りいただかないと人身事故につながる恐れのある注意事項は「警告」という見出しで掲げてあります。
⚠注意	もしお守りいただかないと機械の破損や故障につながる恐れのある注意事項は「注意」という見出しで掲げてあります。

[絵表示の意味]

△　絵表示は警告・注意を促す内容があることを示すものです。

例：⚠感電注意

⃠　絵表示は禁止の行為であることを示すものです。

例：⃠分解禁止

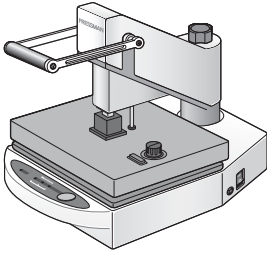
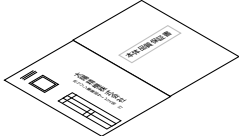
❗　絵表示は行為を規制したり指示する内容を示すものです。

設置上のご注意

本機の総質量は 20kg です。床や土台が不安定な場所への設置はしないでください。転倒や故障の原因になります。（平らで丈夫な場所へ設置してください。ヒーター部を横に動かすので障害物がないところに設置してください。） 設置スペースは 10 ページ参照	電源は必ず専用コンセントを使用し、テーブルタップは使用しないでください。アースは必ずとってください。感電や火災の原因になります。

電源コードの上に重いものをのせないでください。火災や感電の原因になります。	ホコリのある場所に設置しないでください。火災や故障の原因になります。	アルコール・シンナーなど可燃物を本機の近くに置かないでください。火災の可能性があります。

幼児の手の届かない場所に設置してください。	直射日光の当たる場所、高温多湿になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。	強い磁気を発生する器具の近くに置かないでください。誤動作する可能性があります。

使用上のご注意

ヒーターは最高約 200 ℃に加熱されます。ヒーターやその周辺に触れないでください、やけどをする可能性があります。また、温度調整ツマミも熱くなります。	操作は必ず一人で行ってください。ケガをする可能性があります。	プレス中は、ヒーター部の下に手をやらないでください。ケガややけどをする可能性があります。
高温注意 高温『やけど』に注意!!		高温注意 高温『やけど』に注意!!

必ずヒーター部を正面に戻してからプレスを行ってください。ヒーターをスイングさせるときは、必ずレバーを持って行ってください。	プレスしたままその場を離れないでください。火災となる可能性があります。 使用後は電源スイッチを切ってください。 異常な発熱や煙が出たときはただちに電源を切ってご購入店に点検、修理を依頼してください。	ボタンやファスナーをプレスしないでください。変形する可能性があります。

使用上のご注意（続き）

本機に液体がかかったときは、ただちに電源スイッチを切ってから電源プラグを抜き、ふき取ってください。 また、内部に入ったときは、ご購入店に点検、修理をご相談ください。その状態で使用を続けると、感電や故障の原因になります。	ヒーター部の上に物を置かないでください。ヒーター部が破損する可能性があります。	布以外のものをプレスしないでください。機械が故障する可能性があります。
電源プラグを抜き取って!!		タイル 木 皿

ヒーター部を 1 回転させないでください。ヒーター線が切れる可能性があります。	プレスしたまま設定された時間がたつと「ピーピー」と音が鳴り、プレスが完了したことをお知らせします。すぐにレバーを上げてプレスを解除してください。そのままプレスし続けると、火災の可能性があります。	本機を持ち運ぶときは、レバーをいっぱいまで下げてプレスした状態で運んでください。

ヒーター面の清掃は、電源を切り、本機が充分冷えたことを確認してから行ってください。	分解や改造は絶対にしないでください。	現物でプレスする前に、必ず試し用生地等を使ってテストしてください。

長時間ご使用にならないときは、プラグをコンセントから抜いてください。	ラバークッションなしでプレスしないでください。機械が破損する可能性があります。	プレスした状態で電源を入れないでください。ヒーターが加熱され、そのままの状態で放置すると、火災になる可能性があります。

梱包品を確認する

本機をお使いになる前に、以下のものが入っていることを確認してください。

TP-400M 本体　1 台

取扱説明書　1 冊

見本帳　1 冊

保証書　1 枚

本機を設置する

1 本機を設置位置に置きます。

・ヒーター部は左右どちらにもスイングできます。

⚠ 警告

・幼児の手の届かない場所に設置してください。
・ヒーターは最高約200℃に加熱されます。本機の周辺に可燃物を置かないでください。火災になる可能性があります。

⚠ 注意

・TP-400M の質量は約20kg です。水平で本機の質量を考慮した場所に設置してください。

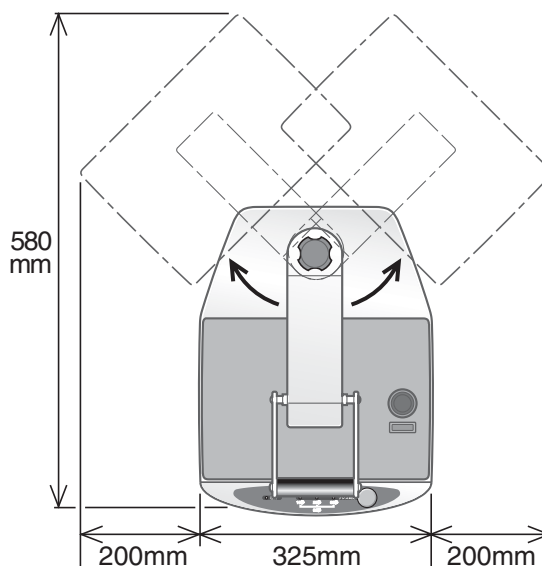
⚠ 注意

・ヒーター部を 1 回転させないでください。ヒーター線が切れる可能性があります。

⚠ 注意

・ヒーター部をスイングさせるときは、必ずレバーを上げてヒーター部をロックしてださい。

ポイント

・ヒーターを片側方向のみにスイングさせる場合、最小の設置スペースは 525 x 580mm です。
・ヒーター部をスイングさせることを考慮して、障害物がない場所に設置してください。
・レバーを上げたときの高さは435mm です。

各部のなまえ

レバー
このレバーをいっぱいまで下げ、ヒーターをテーブルに押し付けてプレスします。

ヒーター加熱ランプ
ヒーターが加熱している間ランプが点灯します。ヒーターが設定温度に達するといったん加熱は終了し、ランプも消灯します。ヒーターが設定温度に達しているかどうかの目安にしてください。

ヒーター
電源スイッチを ON にすると自動的に加熱されます。
電源を ON にしてから約 20 分で設定温度に達します。

ヒーター高さ調整ハンドル
レバーを持ち上げながらこのハンドルを回して、ヒーターの高さを調整します。反時計方向に回すとヒーターが上がり、プレスしたときの圧力が下がります。

電源スイッチ

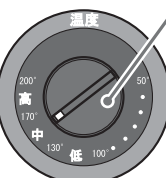
ブレーカボタン
漏電時にこのボタンが飛び出し、電気を遮断します。

圧力ランプ
レバーを下げヒーターを押し付けたとき、一定の圧力がかかると、このランプが点灯します。

プレス時間ランプ
プレス中このランプが点滅します。

プレス時間選択ボタン
プレス時間を 10（秒）、20（秒）、30（秒）、90（秒）の中から選択します。

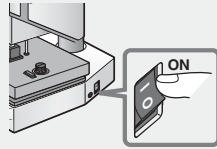
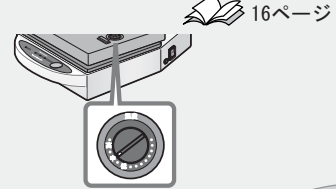
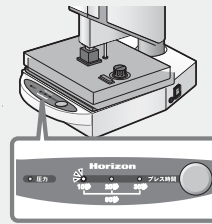
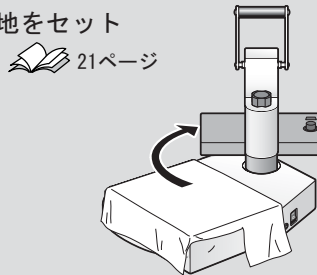
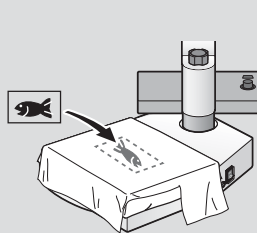
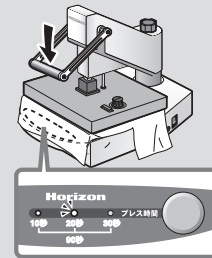
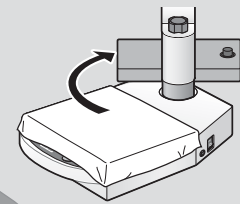
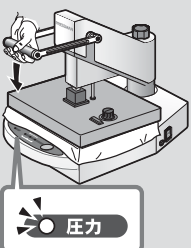
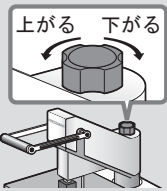
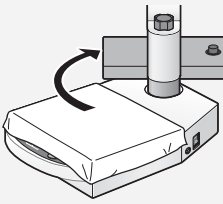
プレス時間ランプ	
10秒	10 秒間プレスします
20秒	20 秒間プレスします
30秒	30 秒間プレスします
90秒	90 秒間プレスします

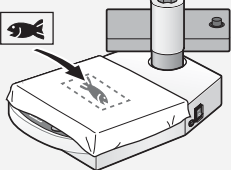
温度調整ツマミ
ヒーターの温度を調整します。
高：約 170 ～ 200℃
中：約 130 ～ 170℃
低：約 100 ～ 130℃

このツマミでは、ヒーターを OFF にすることはできません。

このような手順でプレスを行います

ポイント

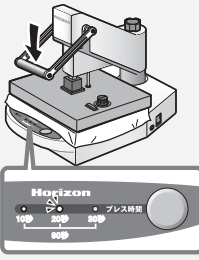
・厚さの違う生地に変えたい場合は、「ヒーターの高さを確認する」（17ページ参照）から再び行ってください。

・また転写シートの素材を変えたい場合は、「ヒーターの温度とプレス時間を設定する」から再び行ってください。

ヒーターの高さを確認

1 生地をセット
17ページ

2 プレスする　17ページ
・レバーが一番重たくなる位置を確認
・圧力ランプが点灯することを確認

圧力

3 必要ならばヒーター高さを調整
18ページ

上がる　下がる

プレスをする

1 生地をセット
ポイント
19ページ

2 転写シートをセット
重要
19ページ

3 プレスする　20ページ
・「ピーピー」と音が鳴ったらプレス終了
・正しく出来たか確認
ポイント

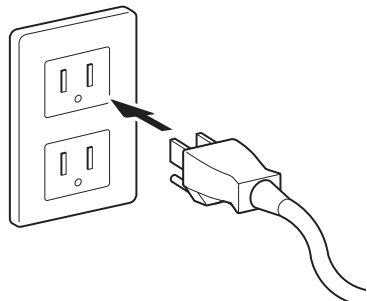
Horizon
プレス時間
10秒　20秒　30秒
90秒

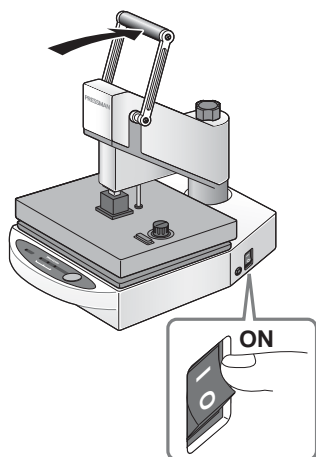
ポイント
・しわをきちんと伸ばしてください。

重要
・転写シートの向き（裏･表）に注意してください。

ポイント
・正しく転写できなかった場合は「こんなときは」（25ページ）を参照して、問題のある部分をもう一度設定しなおしてください。

電源を入れる

1 電源プラグをコンセントに差し込みます。

2 ヒーターが上がっていることを確認してから、電源スイッチをON にします。

・プレス時間ランプとヒーター加熱ランプが点灯し、ヒーターの加熱が始まります。

⚠ 警告

・電源は必ず専用コンセントを使用し、タコ足配線はしないでください。感電や火災の原因になります。
・アダプターをつけたときは、必ずアースを接続してください。
・電源スイッチを入れると、自動的にヒーターの加熱が始まります。ヒーターやその周辺は高温なので触れないでください。やけどをする恐れがあります。

ヒーター温度とプレス時間を設定する

⚠ 注意

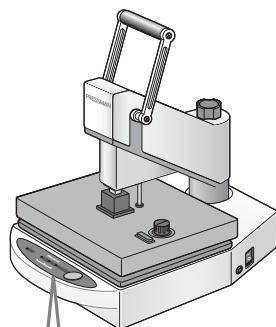
・強い力でツマミを回さないでください。破損する可能性があります。

ポイント

・転写シートに合った温度に合わせます。
・ヒーター加熱ランプが点灯/消灯を繰り返すようになれば、ヒーターは設定温度に達しています。

1 温度調整ツマミでヒーターの温度を調整します。

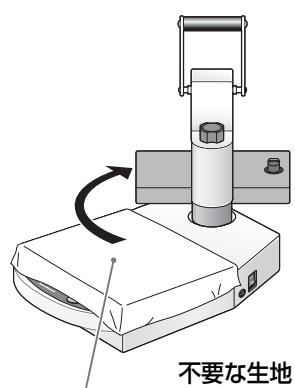
2 プレス時間選択ボタンで、プレス時間を設定します。

・タイマーにはメモリー機能があり、最後にプレス動作を行ったときの設定時間が表示されます。
・ボタンを押すごとに、10 秒→ 20 秒→ 30 秒→ 90 秒と変わっていきます。
・転写紙に合ったプレス時間を設定します。

プレス時間ランプ	
10秒	10 秒間プレスします
20秒	20 秒間プレスします
30秒	30 秒間プレスします
90秒	90 秒間プレスします

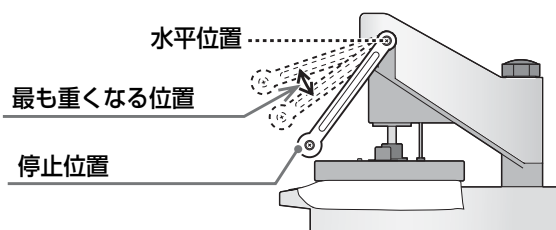
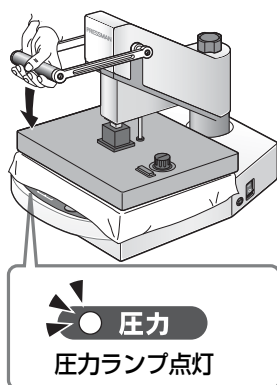
ヒーターの高さ（プレス圧）を確認する

プレスする生地の厚さに合わせてヒーターの高さ（プレス圧）を調整します。これにより、プレスしたときの圧力が生地の厚さに関わらず一定になります。

1 プレスをする同じ生地で、不要なものを用意します。

2 ヒーターをスイングさせ、テーブルの上に不要な生地を置きます。

3 ヒーターを正面に戻してから、レバーを下げてプレスします。

・レバーを下げたときに最も重くなる位置が、水平位置より 35°～45°下がった位置になることを確認します。はじめてご使用になる場合や、最も重たくなる位置が 35°～45°の範囲でない場合、レバーが重くて下げられない場合は手順 4 に進み、ヒーターの高さを調整してください。
・また**レバーが最も重くなる位置で、圧力ランプが点灯する**ことも確認してください。

⚠ 注意

・ヒーター部をスイングさせるときは、必ずレバーを上げてヒーター部をロックしてください。

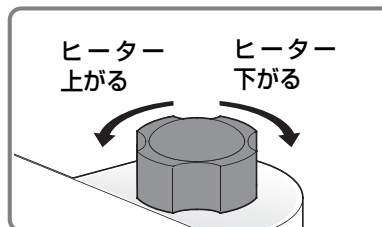
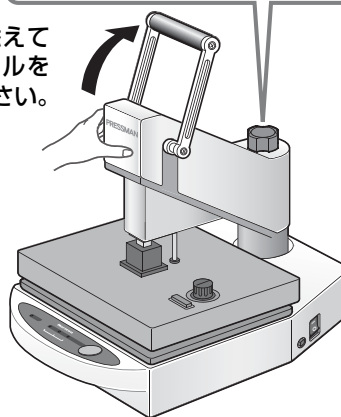
⚠ 注意

・両手で下げても重くて下がらない場合は、無理やり下げないでください。機械が破損する可能性があります。

・圧力ランプが早めに点灯する（35°以下）場合は、ヒーターの高さが低すぎます。手順 4 に進み、ヒーターの高さを上げてください。

・圧力ランプが停止位置付近で点灯したり、圧力ランプが点灯しない場合は、ヒーターの高さが高すぎます。手順 4 に進み、ヒーターの高さを下げてください。

ヒーターの高さ（プレス圧）を確認する（続き）

4 レバーを持ち上げてヒーター部をロックし、手を添えてヒーター高さ調整ハンドルを回します。

5 手順３に戻り、ヒーターの高さが適切か確認します。

⚠ 注意

・ハンドルが回らない位置から、無理やり回さないでください。ハンドルが破損する可能性があります。

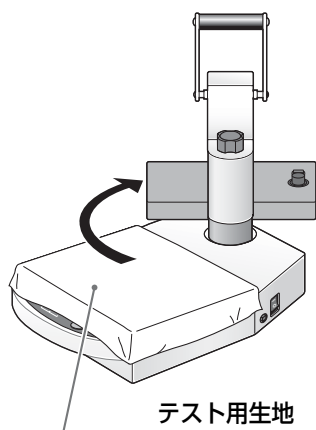
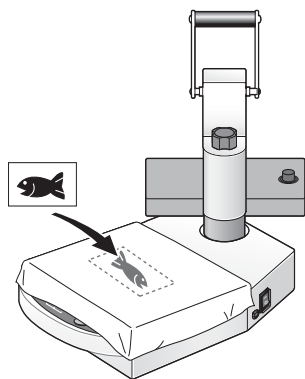
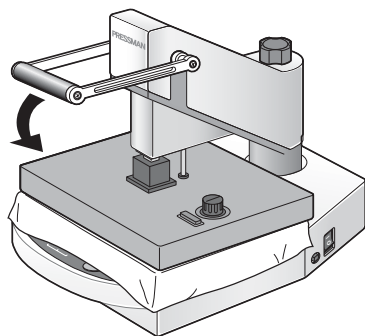
ポイント

〜はじめてご使用になる場合〜
・出荷時は、ヒーターの高さはプレス圧がかからない高さに合わせてあります。ヒーター高さをいっぱいまで下げて、そこから調整ハンドルを１回転半戻した高さを基準にして、ヒーター高さを合わせてください。

テストプレスをする

ヒーター温度、プレス時間、ヒーター高さの設定が終われば、次にプレステストを行います。

1 レバーを持ち上げてヒーター部をロックし、スイングさせてテスト用の生地をテーブルの上に置きます。

・生地は転写したい面を上にしてのせます。

2 転写シートを生地の転写したい部分に、裏表に注意して置きます。

3 ヒーターを正面に戻します。

重要

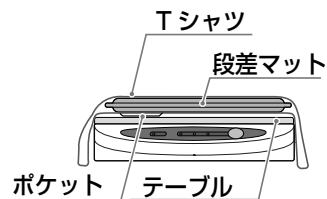
・正しく転写されるまでテスト用の生地を使ってテストしてください。

ポイント

・しわができないように生地を広げてください。生地にしわがある場合は、まず生地のしわを取り除いてください（23 ページ参照）
・生地にポケットなどの段差があるときは、段差マット（別売）を使用すると、跡がつきません。段差マットを使用するときは、必ず段差マットを敷いた状態でヒーターの高さ（プレス圧）調整を行ってください。

ポイント

・プレスできるのは、最大 A4 サイズまでです。
・転写方法の詳細は転写シートの各取扱説明書をご覧ください。

重要

・そのままプレスするとヒーターに引っ付く恐れのある素材を使用するときは、テフロンシート（別売）またはシリコン紙（別売）を上にひいてください。

テストプレスをする（続き）

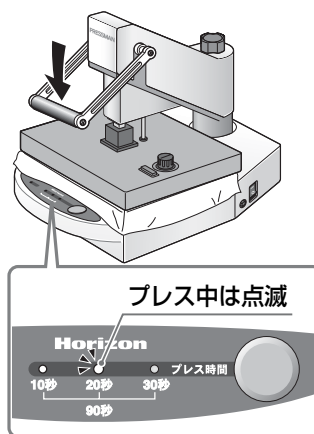
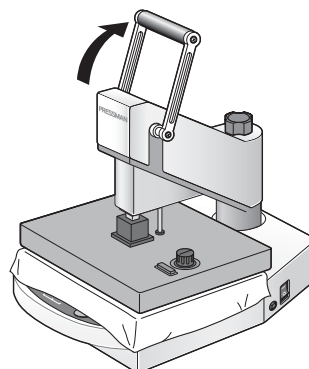
ポイント

・途中でプレスを止めたいときは、レバーを持ち上げてください。

・途中でプレスを止めたときは、タイマーはリセットされます。

・音はレバーを上げるまで鳴り続けます。

4 レバーを一番下まで下げてプレスします。

・プレス中、プレス時間ランプが点滅します。
・設定された時間がたつと「ピーピー」と音が鳴り、プレスが完了したことをお知らせします。

5 「ピーピー」と音が鳴ったら、レバーを持ち上げます。

ポイント

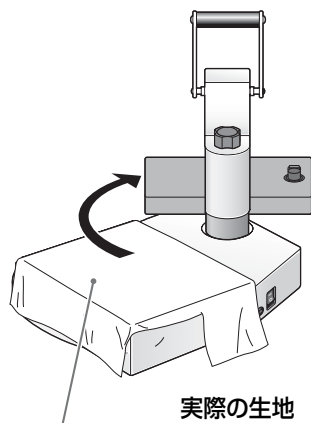
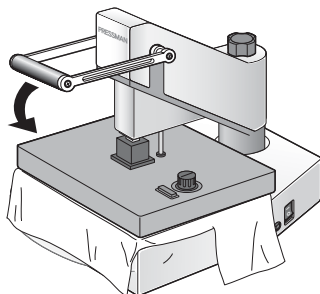
・転写方法の詳細は転写シートの各取扱説明書をご覧ください。

6 ヒーターをスイングして生地を取り出し、転写シートをはがします。

・正しく転写できた場合は、次のページの「プレスします」に進んでください。
・正しく転写できなかった場合は、「こんなときは」（25 ～ 30 ページ）を参照して、問題のある部分をもう一度設定しなおしてください。

実際の生地でプレスをする

1 テストプレスが成功したら、実際の生地でプレスします。

・レバーを上げてヒーターをロックし、スイングさせて生地をテーブルの上に置きます。
・生地は転写したい面を上にしてのせます。

2 転写シートを生地の転写したい部分に、裏表に注意して置きます。

3 ヒーターを正面に戻します。

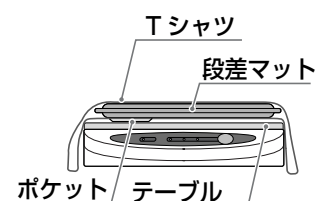
ポイント

・しわができないように生地を広げてください。生地にしわがある場合は、まず生地のしわを取り除いてください（23ページ参照）

・生地にポケットなどの段差があるときは、段差マット（別売）を使用すると、跡がつきません。段差マットを使用するときは、必ず段差マットを敷いた状態でヒーターの高さ（プレス圧）調整を行ってください。

ポイント

・プレスできるのは、最大A4サイズまでです。
・転写方法の詳細は転写シートの各取扱説明書をご覧ください。

重要

・そのままプレスするとヒーターに引っ付く恐れのある素材を使用するときは、テフロンシート（別売）またはシリコン紙（別売）を上にひいてください。

実際の生地でプレスをする（続き）

ポイント

・途中でプレスを止めたいときは、レバーを持ち上げてください。ただし、転写が不十分になる可能性があります。

・音はレバーを上げるまで鳴り続けます。

4 レバーを一番下まで下げてプレスします。

・プレス中、プレス時間ランプが点滅します。
・設定された時間がたつと「ピーピー」と音が鳴り、プレスが完了したことをお知らせします。

ポイント

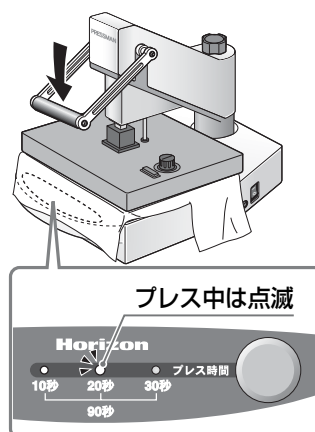
・同じ条件で転写を行う場合は、手順 1 から再び手順を繰り返し行ってください。

・厚さの違う生地に変えたい場合は、「ヒーターの高さ（プレス圧）を確認する」（17 ページ）から再び手順を繰り返し行ってください。

・また、転写シートの素材を変えたい場合は、「ヒーターの温度とプレス時間を設定する」（16 ページ）から再び、手順を繰り返し行ってください。

5 「ピーピー」と音が鳴ったら、レバーを持ち上げます。

ポイント

・転写方法の詳細は転写シートの各取扱説明書をご覧ください。

6 ヒーターをスイングして生地を取り出し、転写シートをはがします。

7 作業が終わったら電源スイッチを OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

生地のしわを伸ばす

転写前に生地のしわを伸ばしたい場合は、生地だけでプレスし、しわを伸ばすことができます。

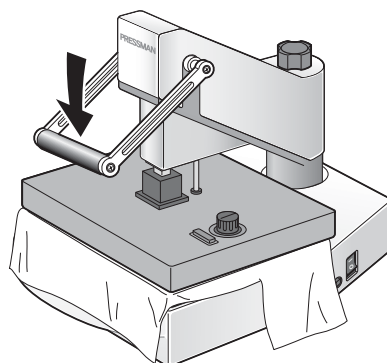
1 レバーを上げてヒーターをロックし、スイングさせて生地をテーブルの上に置きます。

2 ヒーターを正面に戻します。

3 レバーを下げてヒーターを生地に押しあてます。

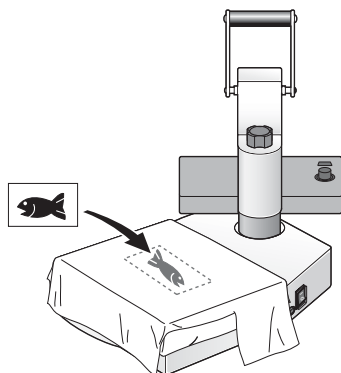
・約 3 秒間押しあて、ヒーターを上げてしわがとれたか確認してください。
・「ピー」と音が鳴りますが、しばらくすると消えます。

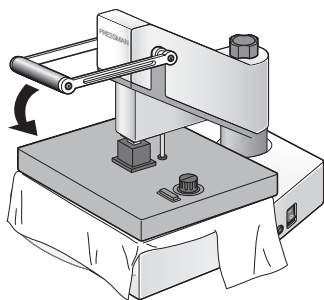
ポイント

・できるだけ、生地を伸ばして置いてください。
・生地にポケットなどの段差があるときは、段差マット（オプション）を使用すると跡がつきません。段差マットを使用するときは、必ず段差マットを敷いた状態でヒーターの高さ（プレス圧）調整を行ってください。

問題

転写しない・圧着があまい

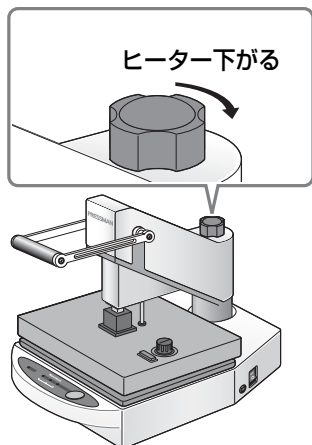
以下の項目を順にチェックしてください。

1 転写シートは裏表逆にして生地においていませんか？

・転写シートは裏表に注意して置いてください。

2 プレスするとき、ヒーター部を真正面に戻していますか？

・真正面に戻さなければ、均等に圧力がかかりません。

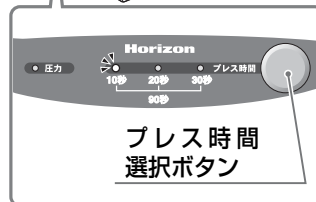
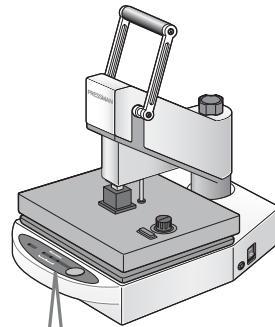
3 お使いの各種転写シートに合ったプレス条件（温度、時間）が設定されていますか？

・付録のプレス条件表（34 ページ）を参照して、素材に合うプレス条件に設定してください。

4 ヒーターの高さ（プレス圧）は正しく設定されていますか？

・生地の厚さに合ったヒーター高さ（プレス圧）を設定してください。（17 ページ）

転写しない・圧着があまい（続き）

4 プレス時間を少し長く設定してください。

プレス時間ランプ	
10秒	10 秒間 プレスします
20秒	20 秒間 プレスします
30秒	30 秒間 プレスします
90秒	90 秒間 プレスします

5 お使いの生地は圧着可能ですか？

・撥水性の生地は、接着が出来ないことがあります。生地に問題があれば、変更してください。

6 用途に合う転写シートをお使いですか？

・ご使用の転写シートの取扱説明書を確認してください。

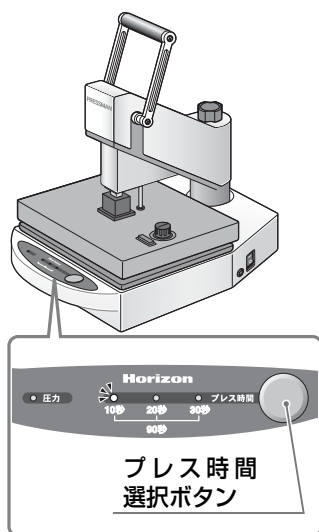
問題

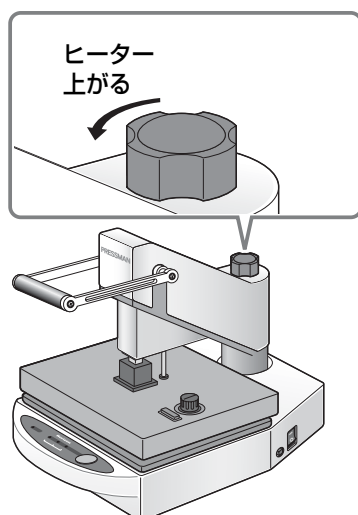
裏写りする

以下の項目を順にチェックしてください。

1 お使いのマーク地、各種転写シートに合ったプレス条件（温度、時間）が設定されていますか？

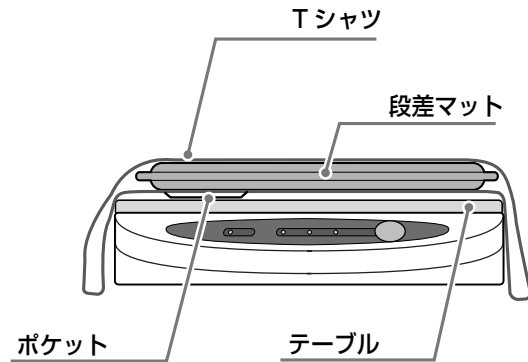
・付録のプレス条件表（34 ページ）を参照して、素材に合うプレス条件に設定してください。

2 プレス時間を少し短く設定してください。

プレス時間ランプ	
10秒	10 秒間 プレスします
20秒	20 秒間 プレスします
30秒	30 秒間 プレスします
90秒	90 秒間 プレスします

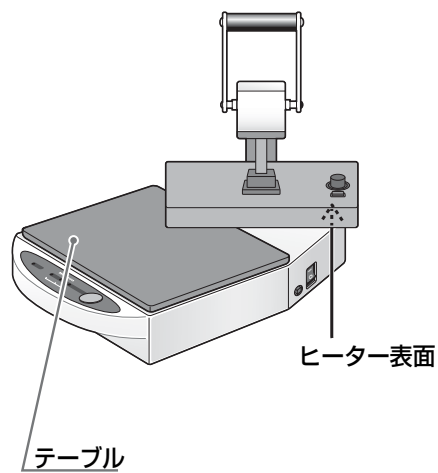
3 プレス時間を少し短くしても裏写りする場合は、ヒーターの高さを上げて少しプレス圧力を下げてください。（17 ページ参照）

こんなときは

問題
ボタンやポケットの型がつく

・生地にボタンやポケット、ファスナーなどの段差があるとき、その型がつくことがあります。

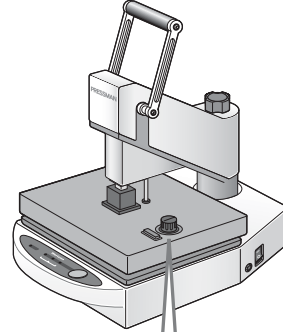
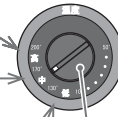
1 別売の段差マットを間に挟んでお使いいただくと、型がつきません。

問題

生地が汚れる

1 ヒーターかテーブルの表面が汚れています。電源スイッチを OFF にし、ヒーターが十分に冷えるのを待ってから、汚れを拭き取ってください。

こんなときは

問題

転写した絵柄が変色する

ヒーター温度が高すぎます。少し低く設定してください。

故障したかなと思ったとき

● ヒーターが熱くならない

･電源プラグを確実に差し込んでください。
･ブレーカのボタンがとび出していないか確認してください。とび出している場合は、電源スイッチを OFF にして、ボタンを押し込んでください。(11 ページ参照)
･調整ツマミが低い温度に設定されていないか確認してください。

● ブレーカが落ちる

･電源スイッチを OFF にして、ブレーカのボタンを押し込んでください。(11 ページ参照) 再びブレーカが落ちるようであれば、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください。

こんなときは

主な仕様

モデル	TP-400M
ヒーターサイズ	210mm × 297mm (A4)
ヒーター温度調整範囲	100℃～200℃
プレス圧力	480gf/c㎡
プレス荷重	3.0kN
電源	100V 50/60Hz
消費電力	770W
機械寸法	325mm（幅）× 430mm（奥行き）× 435mm（高さ：レバー上げたとき）
質量	20Kg
使用周囲温度	+10℃～+30℃

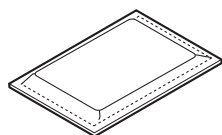
プレス条件表

プレス条件は、各種転写シートにより異なります。
それぞれの素材に合ったヒーター温度、プレス時間に設定してください。
下表は当社製転写シートの推奨プレス条件です。参考にお使いください。

■当社製転写シートと推奨ヒーター温度、プレス時間

転写シート素材の種類			ヒーター温度	プレス時間
サンアート	カラーコピー、レーザープリンタ用	サンアート転写紙 Laser&Copy 淡色用	高温（180 ℃）	15 ～ 20 秒
		サンアート転写紙 Laser&Copy 濃色用	低温（130 ℃）	10 秒
	インクジェットプリンタ用	サンアート JET 淡色用	高温（180 ～ 190 ℃）	15 秒
		サンアート JET 濃色用	高温（185 ℃）	20 秒
		サンアート JET 反射用	高温（185 ℃）	20 秒
サンマーク		メタルラバー	中温（150 ℃）	15 秒
		反射ラバー	仮付け時：低温（110 ℃） 中温（150 ℃）	20 秒 20 秒
		サンラバー	中温（150 ℃）	15 秒
		発泡ラバー	低温（100 ℃） 発泡時：中温（150 ℃）	15 秒 15 秒
		フロッキー	中温（150 ℃）	20 秒
レタプリ工房		アルファベット	中温（150 ℃）	15 秒
		数字	中温（150 ℃）	15 秒

・厚手のシャツ（トレーナーなど）は、プレス時間を 2 ～ 5 割増しで行ってください。

別売品

段差マット
 生地にボタンやポケットがある場合、プレス時にそこが段差になり、型がつくのを防ぎます。

索引

あ
圧力ランプ .... 11、17

う
裏写り 27

え
絵柄が変色 30

お
温度調整ツマミ .... 11、16

か
型がつく 28

こ
こんなときは 25

し
仕様 33
しわ 23

せ
設置 10
清掃 29

た
段差マット .... 19、35

て
テーブル .... 19、21、29
テストプレス 19
電源スイッチ .... 11、15
転写シート .... 19、21、22

ひ
ヒーター温度 16
ヒーター高さ 17

ふ
ブレーカボタン .... 11、31
プレス時間選択ボタン .... 11、16
プレス時間ランプ .... 11、26
プレス条件 34

れ
レバー 11